



こんにちは

日本共産党市会議員

<議会報告>

玉本なるみ

です

連絡先：日本共産党北地区委員会

☎075 - 432 - 3261

2015年7月②号

戦争法案阻止へ、空前の国民的たたかいを！

日本共産党は7月15日に党創立93周年を迎えました。記念講演会では、志位和夫委員長がこの間の国会での戦争法案での状況を踏まえ、法案の「違憲性」「対米従属性」「歴史逆行性」をわかりやすく講演し、政府与党の歴史的暴挙ぶりに、満身の怒りを込めて、断固たる抗議の声を突きつけますと訴えました。

法案は7月15日に衆議院安保特別委員会、16日に衆議院本会議で強行採決されてしまいました。野党が合意しないまま、強行採決した議会での様子の報道には「あれはひどい！」と多くの国民が呆れました。

これから参議院での審議が始まりますが、法案を成立させるには、参議院で再び強行採決するか、衆議院での「3分の2」以上での強行採決が必要となります。国民的運動を広げに広げ、圧倒的世論で安倍政権をさらに追い込み、採決させないよう頑張らしましょう！



河原町三条での署名行動。左が玉本

国民平和行進2015の綱の目に行進

今年も、上賀茂神社から船岡山公園まで歩きました。戦後70年の節目の年！この年に安倍政権は戦争法案を強引に可決しようとしています。絶対に阻止しなくてはなりません！今年には原水爆世界大会に参加する予定です。16年前に広島大会に参加しましたが、今回は長崎大会に参加します。今年には広島、長崎の両方で開催されます。



議会報告

<教育福祉委員会7月8日>

◆精神保健医療福祉施策に関する市民からの要望について

精神疾患関係の医療機関や福祉施設、家族会の皆さんから、市への要望が寄せられています。国の制度そのものの改善も必要ですが、京都市独自の努力でできることから、実施を求めました。

家族の方々からの切実なご要望は、親亡き後の心配です。安心して入所できる施設や地域での支えがまだまだ不十分です。体制の充実を求めると共に、とにかく、親身になって、当事者や家族の声をゆっくりと聴くよう強く求めました。

毎年出される要望についても、文書回答でも欲しい、懇談の時間をゆっくりと取って欲しいとの希望に真摯に応えるよう要望しました。

◆生活保護住宅扶助の特別措置の徹底について

7月1日から生活保護の住宅扶助が引き下げられ、安い家賃の所への転居が指導されています。しかし、経過措置として、更新日までの猶予や、通院や障害、通学などの転居が困難な場合は旧基準が適用されることを徹底するよう求めました。ケースワーカーが個別対応すると答弁がありました。

つばやき：フラカード

最近のデモ行進は「アピールパレード」と言って、太鼓などを鳴らし、テンポよくアピールしたり、プラカードも掲げて、歩きます。「戦争やめて」「アベ政治を許さない」「殺すな、殺されるな」などインパクトがあります。どんどん、多くの方が参加しやすいパレードの工夫があったらいいと思います。学区などでも、無数のパレードや運動を広げていきましょう！



食事に重要な役割があるとおっしゃってました。

福岡市の中学校給食室の視察に伺い、試食もさせていただきました。福岡市は小学校は自校方式だけと、中学校はセンター方式で、給食センターで大量に調理され、各中学校に配送されます。センター方式にしたのは、費用面や敷地面積、建設の長期化等が理由とされています。中学校給食は昭和48年から実施されてきて、京都市のような弁当の選択制は当初より考えはなく、全員の完全給食を実施されています。今年9月に新しく建て直したセンターで、衛生面をしっかりと配慮し、アレルギー除去や代替メニューも作られています。見学コースもできていて、蒸気回転釜の調理やエアロシャワーの体験をさせてもらいました。自校方式でないのは残念ですが、全員が食べるということは、大事だと思えます。京都市の選択制委員会の方も、学校給食が子どもの食事に重要な役割があるとおっしゃってました。

アンテナ 中学校給食

